

2018 vol.204 OCT

SOUSAKU

創作手工芸



公益財団法人日本手工芸作家連合会

「健康の美」と「手工芸」

公益財団法人日本手工芸作家連合会
会長 花村邦昭



民芸運動の創始者である柳宗悦は「手工芸」の根幹に「健康の美」を据えます。「無名の民衆が生活の必要に応じて無心に創った健康な手工芸作品」こそがすべての「美」の源泉だと見ます。「吾々の目指すところは健康な美である。それによって保証される健康な文化である」。「手工芸作品の良し悪しを定める標準は、それがどれだけ健やかな心と体によって造られたものであるかによる」と言います。

それには、若い時から“いのち”を輝かせ、悦ばしい人生を目指し、その体験をバランスよく積み重ねていくことが大事です。美容・美装・美飾などの身づくり、美しい身体作法の習得など、〈身〉をもってする生活の美化もそこに含まれます。

〈身〉は“いのち”と“環境”との境界にあって、“環境”的鮮度を保つことで“いのち”をより輝かし、そうすることで“環境”をより生きるに値するものにつくりかえます。特に、〈身〉をもってする「ものづくり」の手工芸文化はヒトとヒト、

ヒトとモノ、ヒトと環境世界の審美的コミュニケーションにとって欠かせないものです。そのコミュニケーション過程から生み出される「美的生活」によって、人は「創造的快を味わい」、「意味体験の深みを生きること」ができるようになります。

目指されるのは、日常性に根差した生活のなかの「健康な文化」です。そこには「健やかな心と体」が奏で合う悦ばしい響応があります。それは互いが「美の規範」(自然摂理)の体現主体同士であることを再確認し合う機会でもあります。それによってわれわれは自らの経験の地平を拡張し、ものの見方をより柔軟にし、新たな創造的生へ向けて自分をいっそう駆り立て、自分を一段と高次の人格存在へと高めていくことができるようになります。そこに豊かな「健康の美」世界が開かれます。

わが『公益財団法人 日本手工芸作家連合会』が目指しているのもそれです。われわれが現に生きている「日常」をこうしてより健やかに美しく編成していく工夫を通して、そこを「“いのち”的悦び」の場へと、「やすらぎ、くつろぎ、精神的融和、魂の浄化、悦楽」などを交歓し合うことのできる「生活空間」へと創り直していくことです。情緒的・精神的によりいっそう柔軟で逞しい澆刺とした生命力エネルギーに溢れた「生活世界」の創成です。一人でも多くの方がわれわれのこの活動にご賛同いただき参加してくださるのを願っています。

最後になりましたが、皆様のいっそうのご健勝とさらなるご活躍をご祈念申し上げて巻頭のご挨拶とさせていただきます。

第51回 創作手工芸展 講評

審査委員長 大 矢 紀 (日本美術院同人)



文部科学大臣賞
「朝焼け」池田きみ子

鳥海山から登る朝日の色をイメージしたと言う暁の表情。パッチワークに使った地色の白と茜色の濃淡、遊佐刺し子の文様の変化で中央から周辺に広がる光の輪が巧みに表現された。刺し子もパッチ

ワークも一針一針、一目一目の積重ねによる根気のいる作業で、ともすれば趣味的な創作に陥りやすい。この作品はその域を脱し、一枚の「朝焼け」のタブローとしても表現に成功して清々しい。

(日本女子大学名誉教授 東京国立博物館

客員研究員 小笠原小枝)

東京都議会議長賞 「渦まく海」 田村紀子

渦まく海の潮流を直線の正方形の角を大小に組み合わせて、幾何学模様に構成した形態に、こぎん刺繡の技法を多様に、また、ブルー系の糸を巧みに濃淡を駆使して自由自在に、立体的に表現している。その動向には躍動感に溢れる絶妙なる豊かな奥ゆかしさと、宇宙の生命力と魂を感じる作品である。

(和洋女子大学名誉教授

公益財団法人日本編物手芸協会理事長 櫻井映乙子)

大妻コタカ賞 「パリの夕暮れ」 福田りお

パリの夕暮れの景色を羊毛の持つ温かみのある素材を活かした、独自の新しい表現方法である羊毛絵画で、フェルティングニードルで刺して制作しています。陽が沈みゆき、広い空に星が煌めく情景が街への思いや憧れを与えてくれます。また、水面に映り込む外灯が哀愁を漂わせ、抒情的な雰囲気をそこはかとなく出した秀作です。

(漆芸作家 田口義明)

日本手工芸作家連合会会長賞 「北前船」

土門コト

米俵を満載して、波浪を乗り越え、日本海の荒波に漕ぎ出す北前船の迫力。刺し子とパッチの高度な技術に加えて、斬新な発想力、デザイン力も面白い。

(公益財団法人日本手工芸作家連合会

会長 花村邦昭)

審査委員長賞 「トロイメライ」 筒井真喜子

今回受賞された「トロイメライ」は昔オランダ、トルコなどの王宮、博物館などで見た物に感じが似ているが、それをエッグで制作する大変さは一通りではなくおどろきである。本物の陶器の様であり 可愛いドールとウォッチ 夢そのものでその技術に乾杯。

(公益財団法人日本美術院同人

公益財団法人川崎市文化財団理事 大矢 紀)

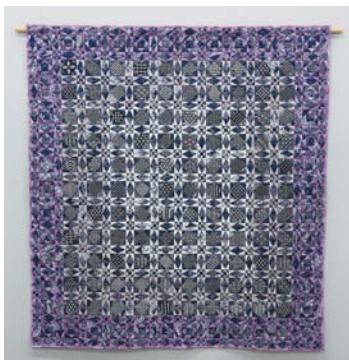
奨励賞は例年通り四点で、それぞれが大人の作品である。粟倉香代さん「Shine garden-1」は立体で手提げの上品なバッグで少しデコラティブの中にも青色の星座の様な色が美しい。大前良子さん「遊佐刺し子に導かれて」は四角と丸の組合せが一見男性のセーターの様な感じの中にも角も丸も細かな中にも工夫があり神經のいきとどいた感性に驚き大。大木美津江さん「MEMORY」はバックが黒と言うインパクトを背景に美しい花模様を配し、異国情緒あふれる。黒澤勝子さん「家族の絆」は縦長のスッキリした菱形の大中小をバンド状のひもで色に変化をつけながら魅せる。

佳作は三名で阿部敬子さん「イスタンブールの旧市街」は私も何回か行った事があるが非常に魅力的な街でその印象をデザインに表わしている。梶間充子さん「花の鎧」は生地を厚手に花模様を渋く華やかにしたコートでこれを着こなす人はどんな人か思わずイメージをしてしまう。柴村トシエさん「花言葉」は本当に上品な色調と仕事ぶりに只々魅せられ椿の花と共に我が家にも欲しくなる様な作品である。

技術賞は四点であるが中でも池田節子さん「春香」はごく平凡に見えるが糸の使い方と色調技術は前年の第50回記念賞を取った作家だけに“うん”さすがなものである。内田桃子さん「トレド」はスペインのトレドをイメージした感性ある作品である。音丸孝さん「彫漆盛器【浮釣木】」、神山康子さん「時間の優しさの贈り物」は個性あふれる作品でこれぞ手工芸品と言える。

新人賞は三名だが新人とは言えない堂々として新鮮な作品である。特別賞は16名で一ノ瀬治子さん「馬車で走る風景」他、皆さん個性あふれる作品である。(全作品は図録に掲載)

第51回創作手工芸展 受賞作品



文部科学大臣賞
「朝焼け」
池田 きみ子

この度は文部科学大臣賞と言う大きな、思いがけない賞に重みを感じています。遊佐刺し子教室の土門玲子先生の熱心なご指導にいつも感謝しております。

今回の作品は鳥海山の後ろから登る朝日のおだやかな、やさしい色合いを刺し子とパッチワークで表現したくて制作しました。

この賞を機に新しい気持ちで作品にむかって行きたいと思います。

最後に審査員の先生、公益財団法人日本手工芸作家連合会理事の皆さんに心から御礼申し上げます。ありがとうございました。



東京都議会議長賞
「渦まく海」
田村 紀子



大妻コタカ賞
「パリの夕暮れ」
福田りお



日本手工芸作家連合会会長賞
「北前船」
土門コト



審査委員長賞
「トロイメライ」
筒井 真喜子



奨励賞
「Shine garden-1」
粟倉香代



奨励賞
「MEMORY」
大木 美津江



奨励賞
「遊佐刺し子に導かれて」
大前 良子



奨励賞
「家族の絆」
黒澤 勝子



佳作
「イスタンブールの旧市街」
阿部 敬子



佳作
「花の鑑」
梶間 充子



佳作
「花言葉」
柴村 トシエ

新人賞 「波紋」 齊藤 みと枝

この度は新人賞を頂きましてとても感激しております。

古くから続いている津軽こぎん刺しに会い、鎌田久子先生にグラデーションの手法を教えて頂き、作品を作ってまいりました。

この作品は、一滴の水が広がっていく様子を青色等を基調に表現してみました。これからも一針一針心を込めて、作品作りに励んで行きたいと思います。ありがとうございます。



新人賞 「息吹」 鈴木 文代

この度は新人賞の評価を頂きありがとうございました。

偶然出会った津軽こぎん刺しの美しさに魅せられ十数年以來、鎌田先生ご指導のもと先人の知恵と工夫の織り込まれた、こぎん刺しに深く引き込まれていきました。現在二年に一度のグループ展「藍と白の会」の出展に励んでいます。

今回初めての出展で、はからずも受賞出来感激しております。微力ながらも手仕事の素晴らしさを津軽こぎん刺しを通じ皆様に伝えられたらと思います。

新人賞 「夏休み」 福田 桜

新人賞を頂き光栄です。この作品は秋田県へ夏休みで帰省した時の風景です。

じいじが作ったプランコに乗るピンク服の娘、実家の庭の緑色とのコントラストが綺麗で写真におさめ、140色の刺繡糸で約1年かけてクロスステッチにしました。

写真をそのまま飾るのは違う。糸の温かみがあって手作りは良いなあと感じます。

本業のシャドウボックスとともに更なる高みを目指して、また新たな制作に励みたいと思います。



学生賞 「唐草ぶどう」 岩田 泰子

この度、学生賞を頂き、とても嬉しく思っております。

この作品では、日本で昔から使われている葡萄唐草文様をもとに、葡萄と合わせてよく使われるリスが模様の中に隠れて見えるようにデザインし、日本刺繡で制作しました。これからは、人を笑顔にすることを目標に、刺繡で作品を作り続けようと思いました。ありがとうございます。

平成30年度 活動報告

●第51回創作手工芸展 授賞式・懇親会のご報告

平成30年5月29日(火)から6月3日(日)まで東京都美術館で開催された第51回創作手工芸展は出品作品応募者数78名、その作品総数は86点に及び、期間中のご来場者総数は3,459名に上る盛況なものとなりましたが、その栄えある授賞式並びに懇親会が6月2日(土)の午前11時30分から上野のレストラン精養軒にてとり行われました。

まず、授賞式では、入選・学生賞・特別賞・新人賞・技術賞・佳作・奨励賞の順に受賞者名・作品名が発表され表彰状と記念品の授与が行われたあと、いよいよ審査委員長賞・日本手工芸作家連合会会長賞・大妻コタカ賞・東京都議会議長賞の受賞作品発表で順に受賞者の登壇・受賞が終わると、最後に本年の文部科学大臣賞受賞者名と作品名が発表され授賞式はクライマックスに達しました。

このあとご来賓代表のご挨拶をディー・エム・シー株式会社小山田光晴社長様からいただいたのに続き、審査委員長の大矢 紀先生からの審査のご講評を拝聴、「出品作品のいずれもが高いレベルに達していて審査には大変な苦労があった」とのお話に受賞者の皆さんは頑張ってきた甲斐があったとの思いを新たにされました。

最後に受賞者を代表して文部科学大臣賞受賞者の池田きみ子さんからお礼と感謝の言葉が述べられ授賞式は無事閉幕。

午後1時からはレストラン会場での楽しい懇親会の開宴となり、これまでの作品制作の苦労をお互いに称え合っての終始和やかなお食事会に全員時の経つのを忘れ、最後は来年の第52回展にも意欲的に取り組んでいこうとの熱い思いを胸に、笑顔での散会となりました。



●チャリティーバザー報告

平成30年5月29日(火)～6月3日(日)開催の「第51回創作手工芸展」に於いて、当連合会員有志により同時開催されたチャリティーバザーは、大盛況のうちに終了いたしました。ご参加、ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。

売上金の一部を今年は東日本大震災支援金として宮城県に寄附し、この企画の目的を達成することができました。また、来年の「第52回創作手工芸展」に於いてもチャリティーバザーを開催いたしますので会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。詳細は、連合会事務局まで。

① 創作手描き友禅・
「猪股洋子と華の会」
第26回作品展

テーマ「祈る心で」

岡山県天神山文化プラザ
(H29.8.21～26)



② スペイン刺繡の魅力に迫る
内田桃子グループ展

テーマ「暮らしの中のスペイン刺繡」
セルバンテス文化センター東京
(H29.11.15～12.1)



③ スモック刺繡作品展
松涛支部

テーマ「I LOVE スモッキング」
銀座清月堂画廊
(H29.12.11～17)



④ 第26回創作手工芸 梅支部展

NHK福岡放送センタービル・NHKギャラリー
(H30.9.26～30)



事務局だより

●(公募)第52回創作手工芸展のご案内

会期：平成31年5月29日(水)～6月4日(火)(6月3日(月)休館日)

会場：東京都美術館 ギャラリーC

募集期間：平成31年2月18日(月)～5月9日(木)

・ギャラリートーク開催：5月31日(金) 13:30～14:00

「チャリティーバザー」同時開催

第52回創作手工芸展に於いてチャリティーバザーを開催いたしますので、会員の皆様のご参加をお待ち申し上げます。

●平成30年度資格免状取得者

資格名	資格者氏名	科 目	資格名	資格者氏名	科 目
講 師	佐 藤 美 代	遊佐刺し子とパッチワークコラボ	高等科	遠 藤 順 子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ
講 師	桜 庭 あい子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ	高等科	佐 藤 正 子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ
講 師	大 前 良 子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ	高等科	福 留 理恵子	英國刺繡
講 師	五十嵐 悠美子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ	高等科	丸 山 曜 瑛	フラワーデザイン
講 師	田 中 澄 江	欧風刺繡	普通科	遠 藤 順 子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ
講 師	神 山 康 子	スマッキング刺繡	普通科	佐 藤 正 子	遊佐刺し子とパッチワークコラボ
講 師	佐 藤 ヨヨシ	遊佐刺し子とパッチワークコラボ	普通科	福 留 理恵子	英國刺繡
			普通科	丸 山 曜 瑛	フラワーデザイン

●新入会員紹介 (平成29年10月～平成30年9月、敬称略)

飛澤 栄(東京都) 黒澤 勝子(埼玉県) 金子 文(東京都) 江川 康恵(埼玉県)

小関 文子(山形県) 高橋 時子(広島県) 丸山 曜絵(東京都) 青木 克彦(埼玉県)

木村 則子(神奈川県) 福田 桜(神奈川県) 林 千秋(埼玉県) 岸田 その子(東京都)

●平成30年度 講習会のお知らせ (後期10月～平成31年3月)

開催日	講 師 名	テ ー マ	会 場	時 間
10/13(土)	嶺 本 文 江	額・リボン	京橋越前屋ビル	10:30～15:00
11/10(土)	松 本 志津美	パールネックレス	京橋越前屋ビル	10:30～15:00
12/8(土)	池 田 節 子	正月飾り	京橋越前屋ビル	10:30～15:00
H31/1/21(月)	濱 田 昌 世	編み物	クロバー(株)	10:30～15:00
2/9(土)	福 田 り お	羊毛フェルト	京橋越前屋ビル	10:30～15:00
3/9(土)	大 塚 昌 子	ポタリー	京橋越前屋ビル	10:30～15:00

テーマは変更される可能性があります

●新理事の紹介 平成31年度の役員はホームページに公表しています。

大妻コタカ記念会会長 井上小百合

●平成30年度ご寄附者 H30年4～9月(50音順・上：団体／下：個人、カッコ内は寄附金口数：5千円単位)

第51回創作手工芸展チャリティ有志 (10)

海老澤光夫様 (2)、庄子悦子様 (2)、花村邦昭様(16)、松本志津美様 (2)

匿名 (3)

(ご芳志をいただきまして厚く御礼申し上げます。引き続きご寄附の受付を致しております。ご支援ご協力お願い申し上げます。)

●次回発刊 SOUSAKU 205号は平成31年4月を予定しています。

会員の皆様の活動状況を掲載しますので、1月末までにお知らせ下さい。

●表紙作品：池田きみ子 「朝焼け」

(第51回創作手工芸展 文部科学大臣賞受賞)

編集後記

当連合会の運営は会員の皆様からの会費、ご寄附により支えられています。手工芸の世界に関わっている皆様、愛好家の皆様、これからもご支援ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

発行日／2018年10月吉日

発 行／公益財団法人日本手工芸作家連合会

〒101-0052

東京都千代田区神田小川町3-6-10

MOビル 407号室

TEL 03-5282-5141 FAX 03-5282-5140

E-mail:info@syukogei-sakka.or.jp

URL http://www.syukogei-sakka.or.jp/